

日本芸術院会館の改修工事により、 来場者等の安全を確保・避難所機能を強化する

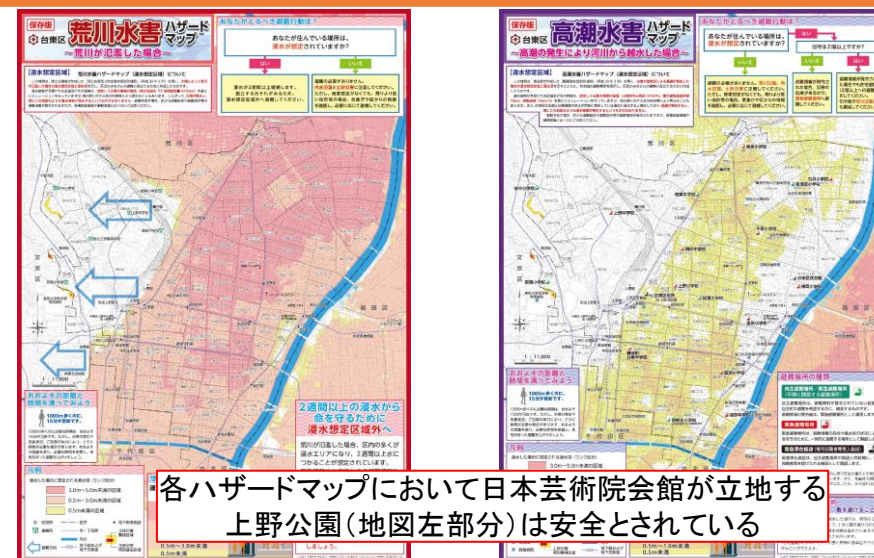
【対策】96 日本芸術院会館の老朽化・修繕対策

対策概要：中長期修繕計画を作成し、安全性の観点から喫緊度の高い施設・設備の営繕を順次行う。

府省庁名：文部科学省

【事例】日本芸術院施設整備事業

- 実施主体：日本芸術院
- 実施場所：東京都台東区
- 事業概要：日本芸術院会館はハザードマップ上で安全とされる上野公園に位置しており、近隣住民及び帰宅困難者の避難所としての機能が期待されている。一方、本館施設や各種設備は老朽化が進行し、災害時に避難所としての機能を十分に発揮できない可能性があることから、日本芸術院本館給排水等改修工事及び日本芸術院本館講堂等空調機改修工事を実施。
- 事業費：1.1億円
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)1.1億円)
- 効果：安全性の観点から喫緊度の高い老朽化・修繕対策を行うことにより、防災・減災機能の強化を図るとともに、避難所としての環境を改善し、地震等に伴う災害が発生した場合でも、展覧会及び講演会への来場者等の安全・安心の確保に備え、近隣住民及び帰宅困難者の避難所として機能することが可能となる。



↓100人規模で避難が可能な日本芸術院会館講堂

